

科目名 (Eng)		日本事情 (Japanese Culture and Society)							
担当教員		畑 薫里							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	留学生	4	後期	必修	1	30	一般	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応： 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応： JABEE基準1 (1) との対応：								
授業の概要と方針		国際化社会に生きる日本人が変わらずに持っている日本人独特のものの見方・価値観を知り、現代の世相も探ることで、日本社会および日本人をを理解する一助とする							
到達目標		①日本社会で円滑な人間関係を築くために、日本人の生活や考え方について理解を深める ②同時代を生きる上で現代社会に共通の問題を考える							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
後期	16	日本文化 (1)	「縁起」とは？				特に必要ないが、初出の熟語の読みと意味・使い方の復習をすること		
	17	日本文化 (2)	「間」と「分」						
	18	日本文化 (3)	「お金」に関することわざと心情						
	19	データから見る日本 (1)	日本人の戦争観について						
	20	データから見る日本 (2)	現代の結婚観について						
	21	データから見る日本 (3)	シングルファーザーの実態						
	22	データから見る日本 (4)	人口問題～少子化の現実						
	23	データから見る日本 (5)	人口問題～高齢化社会の現実						
	24	データから見る日本 (6)	ニートとは？						
	25	日本の若者像 (1)	ケータイに縛られる子供たち						
	26	日本の若者像 (2)	現代シューカツ事情						
	27	まとめテストと課題作文							
	28	まとめテストと作文の反省							
	29	日本人の生活 (1)	川柳から見る「庶民」の生活と本音 (1)					特になし	
30	日本人の生活 (2)	川柳から見る「庶民」の生活と本音 (2)							
試験について		中間試験も期末試験も実施しない							
評価方法		まとめテスト 70%、課題作文 30% として総合的に評価する							
教科書		プリント配布							
参考書		特になし							
関連科目									
履修上の注意		言うまでもなく言語はその後ろに大いなる文化を背負っている。日本語をコミュニケーションのツールとして使うだけでなく、その背景も理解しようとする態度が必要							